



「デイリープログラム」と「アフタープログラム」

始業式と入園式に今年度が始まったと思ったらすでに3カ月が過ぎました。

「何事、3日 3週間 3カ月 3年。」と、諸先輩から教えていただき、この年になるとつくづくそう思います。3カ月がたち、泣きたかったお子様もすっかり落ち着き、不安なお子様もお友達ができ、先生とつながる事で安心し、どの子にも笑顔が見られるようになりました。

保護者の皆様が信頼をして下さり、ご理解とご協力をして下さったからだ、心より感謝いたします。

先日の参観日に、子ども園を卒園しお隣の小中学校へ進学をした生徒さんが妹さんの保育の姿を見学にお母様といらっしゃいました。

「あら、〇〇ちゃん。随分と日焼けしていますね。」すると、お母様が

「サッカー頑張っているんです。」

本園サッカー講師の岡田先生と同じぐらいの肌色で、同じぐらい頑張っているのかと納得をいたしました。

お母様が「子ども園の時は、バレエとサッカーと絵画をしていたけれど、小学生になり続けていく中で好きなサッカーを自分で選んで続けています。」と笑顔でした。続けて「ここからいった△△ちゃんも、××ちゃんも皆そうですよ。1つ選んで続けてます。」

私は、子ども園でまいた種から芽が出たととても感激しました。どうか続けて花を咲かせてほしいと心から思いました。

子ども園の時期には、たくさんのチャンスを作り学園内で容易にプロの方に教えていただき好きな事を見つける。そしてそれを小中学校で得意としていける。「なでしこになるんだよね。」の言葉に笑顔でうなずいている生徒さんを拝見し、そのお子様の未来に思いをはせました。

「豊かな人生の引き出しが1つ増えていってるのだな。」と親御さんのように嬉しく思いました。

もちろん、なでしこにもなれるかもしれません。応援しています。しかし、それが職業にならなくても、つらいことがあった時、また休日に友人と等々、サッカーをこの幼児期児童期に習ったことで、好きな事や得意な事として自分自身の人生のパートナーとし、人生が豊かになっていくのだろうなと感じました。

子ども園では、デイリープログラム5種、アフタープログラム8種を繰り広げております。プロの講師に教えていただきながら、もちろん、日々の先生方の保育活動の中から、どの子も好きな事を見つけれるチャンスが広がっていけるとよいなと、先生方と日々努力をしております。

しかし、自分の子育ての時にこのシステムがあったら、自分の子らも、違ったチャンスがあったのでは？と、そしてどれだけ送り迎えのやりくりがスムーズだったかと思いつている6月です。

